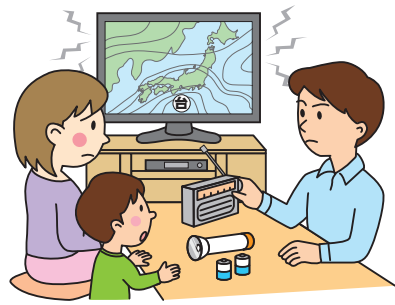


# 風水害

大雨や強風はわたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。  
普段から気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。

## 大雨情報をキャッチ！ こんなときのわが家の安全対策



まずは、確実な情報が大事。  
その次に迅速な対応

### 大雨 注意報

大雨による土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想したときに発表

### 大雨警報

大雨による重大な土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想したときに発表  
特に警戒すべき事項を表題に明示して「大雨警報(土砂災害)」、「大雨警報(浸水害)」又は「大雨警報(土砂災害、浸水害)」のように発表

### 土砂災害 警戒情報

降り続く大雨のため、土砂災害警戒区域等で命に危険が及ぶ土砂災害がいつ発生してもおかしくない非常に危険な状況であると予想したときに発表  
**危険な場所から全員避難!!**

### 大雨特別 警報

台風や集中豪雨により数十年に一度の降水量となる大雨が予想される場合に発表  
特に警戒すべき事項を表題に明示して「大雨特別警報(土砂災害)」、「大雨特別警報(浸水害)」又は「大雨特別警報(土砂災害、浸水害)」のように発表  
雨が止んでも重大な土砂災害等のおそれが残っている場合には発表を継続

■記録的短時間大雨情報とは…数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を、観測したり、解析したりしたときに、各地の気象台が発表します。  
熊本県区域の発表基準は、1時間雨量110mmとなっています。

## 顕著な大雨に関する気象情報

### 線状降水帯の発表基準

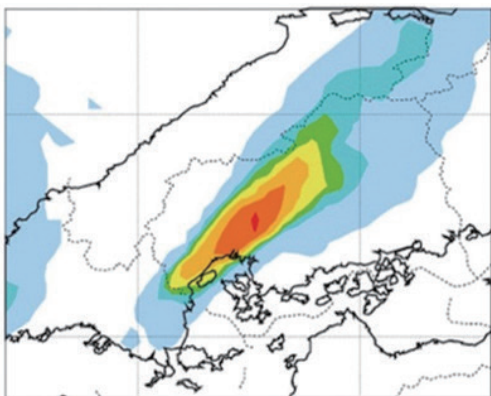
「顕著な大雨に関する気象情報」の発表基準を満たすような線状降水帯による大雨の可能性が高いことが予想された場合に、半日程度前から、気象情報において、「線状降水帯」というキーワードを使って呼びかけます。

#### 線状降水帯 とは

次々と発生する発達した雨雲(積乱雲)が列をなした、組織化した積乱雲群によって、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過又は停滞することで作り出される、線状に伸びる長さ50~300km程度、幅20~50km程度の強い降水をとまなう雨域を線状降水帯といいます。

毎年のように線状降水帯による顕著な大雨が発生し、数多くの甚大な災害が生じています。

#### 線状降水帯の例(2014年8月の広島県の大雨)

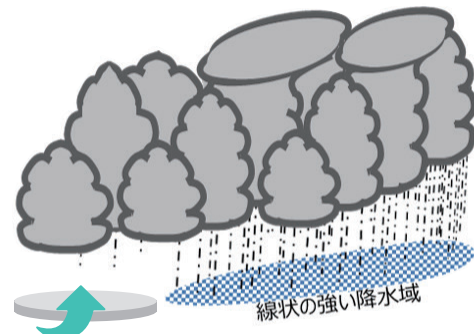


気象庁の解析雨量から作成した、2014年8月20日午前4時の前3時間積算降水量の分布

#### 線状降水帯の代表的な発生メカニズムの模式図

③大気の状態が不安定で  
湿潤な中で積乱雲が発達

④上空の風の影響で積乱雲や  
積乱雲群が線状に並び



②局地的な前線や地形などの影響で  
空気が持ち上がり雲が発生

①低層を中心に大量の暖かく  
湿った空気の流入が持続